



うれしいニュースです。字幕CM協議会に、日本ポストプロダクション協会（JPPA）が新たに協力団体として加盟されます。2023年1月に正式に協議会加盟となる予定です。これまで、様々なご協力をいただいておりますが、制作そして技術系の知恵と知見をお持ちのJPPAのご参加は、心強い限りです。

一般社団法人日本ポストプロダクション協会（JPPA）は、1993年に社団法人として認可され、2022年で30年の歴史を持つ団体です。ポストプロダクション業界ならびに映像業界全体の産業振興を目的とした様々な事業を展開している団体（150会員社）です。（ちょうど10月のタイミングで、WEBサイト <https://www.jpapanet.or.jp> をリニューアルされました。ぜひご覧ください。

ポストプロダクションとは何でしょうか？ 近年コンテンツの重要性が広く認識されています。ポストプロとは、テレビ番組・CM・映画・ネット配信等の良質なコンテンツ制作を、技術面からサポートするととても重要な業務なのです。

JPPAの活動は、技術マニュアル・ポストプロ技術用語集の刊行、JPPA AWARDSの開催、映像音響処理技術者資格認定試験の実施、九州放送機器展の開催…と多岐にわたります。中でも、映像音響処理技術者資格認定試験はテレビ番組・CM・映画・ネット配信等のコンテンツを手がける映像・音響関連業界で、最低限知っておくべき知識を試験しており、ポストプロ業界の幅広い基礎知識・技術の習熟度の底上げを図りその技術力を証明するJPPA認定資格とのこと。若者に向けインターンシップをおこない、ポストプロ業界の持続的な成長産業としていくことにも取り組んでもおられます。近年のネット配信の急速な進化もあり、ポストプロダクションを取り巻く環境は年々変化しサービスも多様化しています。

字幕付きCMの付与作業もその一つ。SDGsに取り組む広告主にとってポストプロダクションの技術力は大きなサポートとなることでしょう。

クローズドキャプション（CC）字幕は音声情報を保障する手段として、文字情報を映像に載せているものです。そして聴覚障害者の方は、様々な情報をTVCMから得たいと感じています。受け止める方々のインサイトを深く洞察することは、これからの広告制作に必須なことですね。

10月からスポット枠の対応が広がったことにより、字幕付きCMは増加しています。JPPA調査「字幕付きCM対応会員社受注状況（制作本数）」では、明らかに制作本数が増えています。2021年度4月～9月は237本、2022年度は同期間で573本、単純に比較はできませんが、前年度比242%と非常に伸びで制作本数が増えています。ポストプロの方からは、15秒タイプの字幕付きCMの制作が増えてきたとの感想もいただいております。スポット枠拡大に対応した動きと言えるでしょう。

これから字幕付きCMに取り組もうという場合、まずは制作担当広告会社、そしてCM制作会社の制作プロデューサーにお尋ねください。CC字幕制作可能な東京大阪のポストプロが対応します。紹介されたポストプロと直接見積りや制作日程を調整できます。本編集MA作業と並行して、直接ポストプロとCC字幕付与作業を進めれば効率的だと思います。

CMプランナーやCDの立ち合いは特に必要ありません。むしろCC字幕には様々な放送上のルールがありますので、知見と経験が豊富なポストプロの字幕CM担当技術者に任せるのが良いと考えます。

放送局の字幕付きCM搬入事前チェックの具体的な事例が増えてきましたら、皆様と知見を共有したいと思います。



※日本ポストプロダクション協会
<https://www.jpapanet.or.jp>

（ご質問は事務局 info@jaaa.ne.jp まで）